

100周年記念碑完成

100周年記念事業の一環として計画されていた記念碑及び上野丘に残る旧高商時代に建てられた門柱のレプリカ設置が完了し、令和4年4月20日、現地に関係者が集まって除幕式が行われました。東京四極会からの募金を基に四極会が大分大学に寄贈したものです。場所は経済学部棟の東側、大学の正門からキャンパスに入っていくとまず目に入る格好の場所です。



初めに、経済学部長室で高見博之経済学部長から、東京四極会の奥川隆生理事長、記念事業実行委員会の野々下俊昭委員長、施工者の橋本石材代表者に感謝状が贈られました。

引き続き石碑とレプリカの前に移動し、除幕式が行われました。式には北野正剛大分



大学学長も参列され、高見学部長、石川公一四極会会長とともに挨拶をされました。奥川理事長、野々下委員長、北野学長、高見学部長の4人が綱を引いて除幕すると青空と木々の緑を背景に立派な記念碑が姿を現して参加者から大き

な拍手が沸き起こりました。式には四極会役員、経済学部関係者等約 30 名が参加されました。

門柱の間に白いアプローチが設けられ、その正面に木山広喜さん揮毫による記念碑が建っています。100 周年を記念する施設がまた一つ完成しました。立ち寄った四極会員が往時を偲び、現役の学生が経済学部の歴史と伝統を実感する施設になりました。

